

こなみ会親睦バス旅行2026

行事委員長 37期 地域B 呼続学区 平澤 美行

6月18日(木) 20名参加、夜中に雨が降り心配されましたが朝には止み、とても暑い1日となりました。最初に信楽のたぬき村に行きたぬきの色付けに挑戦しました。皆さん真剣な表情で無言となり色付けに集中していました。笠はこの色、目は可愛く、毛や服はどうしよう?と芸術家になった気分であつという間の時間でした。出来立てのたぬきを持ち場所を少し移動して「たぬき鍋御膳」に舌鼓を打ちました。

その後、宇治の三室戸寺に移動しました。山間に広がる境内の庭には杉木立の間に様々な種類の2万本の赤、紫、青等色とりどりの紫陽の花園が広がっていました。最初にちょっと急な階段を登って頂上の本堂に、入り口に宇賀神(狛蛇)があり金運を願いあちこち撫でていました。咲き始めた赤い蓮の鉢の中を進み奥に行くと狛牛が、大きく空いた口の中の玉を撫で勝運を願います。次に狛兔が、手探りでお腹の中の卵と立て願い事をしました。

今年は添乗員さんもサービスで同行しとてもスムーズに行動できました。バスの中では、16区フェスティバル候補の「こなみ会応援歌」の練習もできました。皆さまお疲れさまでした。趣味の作品展では、たぬきの作品が色を添えると思っております。 絵付けの様子



ご参加の皆さま

